

# 統語・意味解析コーパス (NINJAL Parsed Corpus of Modern Japanese, NPCMJ) 開発と言語研究

2018年 11月 25日 (日)  
13:10~15:55



**会場** 横浜国立大学 経済学部講義棟 101 教室

(〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-1)

本シンポジウムでは、現在国立国語研究所で開発が進められている統語・意味解析情報付きコーパスである NPCMJ の概要を説明し、その言語学研究上の意義や、それがもたらす新しい言語研究の可能性について紹介する。特に、コーパス構築と理論研究の関連、また、日英語を例とした多言語に適用可能なコーパス設計の可能性に重点をおいて議論する。

参加者との議論を通じて、生成文法、構文文法、認知言語学、(日英) 対照研究の研究者などからの意見を広く仰ぎ、言語研究とコーパス開発の双方の分野の交流を活性化することを目指したい。

司会 吉本 啓 (東北大学)

講師 プラシャント・パレデシ (国立国語研究所)

趣旨説明

講師 吉本 啓 (東北大学)

「言語研究と統語・意味解析情報付きコーパス」

講師 鈴木彩香 (国立国語研究所)

「構文検索ツールNPCMJ Explorer」

窪田悠介 (筑波大学)

プラシャント・パレデシ (国立国語研究所)

講師 Alastair Butler (弘前大学)

"A unified interface for exploring English and Japanese."

※英語での発表

講師 Alastair Butler (弘前大学)

Stephen Horn (国立国語研究所)

"English/Japanese contrastive study based on normalization, a step in the semantic processing."

※英語での発表

コメンテーター 福島一彦 (関西外国語大学)